

住民主体の地域づくりと大学生との交流

平成 29 年度 県市町・大学等連携代表者会議

主催 環びわ湖大学・地域コンソーシアム
日時 平成 30 年 1 月 18 日 (木) 13 時 00 分～17 時 00 分
場所 環びわ湖大学・地域コンソーシアム会議室
参加者 滋賀県、県内 19 市町、13 大学の連携代表者 (約 40 名)
環びわ湖大学・地域コンソーシアム・
インターユニバーシティ・キャンパス事業推進部会員 (10 名)

内容

1、あいさつ

2、講演

「住民主体の地域づくりと大学生との交流の意義・受入体制」(仮題)

長浜市田根地区地域づくり協議会 代表理事 川西 章則 氏

質疑応答

3、報告

(1) 地域を舞台とした大学の課題解決型授業

①「おうみ学生未来塾湖北」の実践と課題

長浜バイオ大学学生教育推進機構副機構長・教授 松島 三児 氏

②「おうみ学生未来塾湖東」の実践と課題

滋賀県立大学地域共生センター助教 上田 洋平 氏

(2) 地域リーダーと大学生との交流

③ 大学生と自治振興会との「まちづくり交流会」の開催

甲賀市地域コミュニティ推進課係長 福田 かおり 氏

質疑応答

4、意見交換 (ワークショップ)

テーマ「地域と大学をどう結び付けるか」

地域の力を学生の学びと成長に活かし、学生の力を地域の再生と発展に活かすために、地域と大学をどう結びつけばよいか、どんなことに注意が必要か、大学・短期大学と市町の連携代表者が小グループで意見を出し合い、まとめて発表する。

コーディネーター 環びわ湖大学・地域コンソーシアム顧問 仁連 孝昭 氏

5、閉会

講演

「住民主体の地域づくりと大学生との 交流の意義・受入体制」(仮題)

長浜市田根地区地域づくり協議会

代表理事 川西章則 氏

滋賀県長浜市田根地区（14自治会）では、地区全体の高齢化率が30%を超え、少子高齢化・過疎化による地域課題が深刻化、自治会活動の運営も困難になりつつありました。そんな中、平成18年2月の市町合併を機に「地域のことは地域で解決する」という機運が高まり、住民主体の地域づくり協議会が平成19年3月市内で最も早く設立されました。

同年、慶応義塾大学やマサチューセッツ工科大学とのワークショップをきっかけに、毎年、過疎化や少子高齢化などの地域課題の解決を目指した大学生との取り組みを継続しています。近年は企業も加わり、ますます活動が多岐にわたるとともに、年々活発化しています。

平成26年度豊かなむらづくり全国表彰で近畿農政局長賞を受賞。平成27年度ふるさとづくり大賞では団体表彰（総務大臣賞）を受賞されています。



報告

(1) 地域を舞台とした大学の課題解決型授業「おうみ学生未来塾」

環びわ湖大学・地域コンソーシアムでは、異なる大学の学生がチームを組んで、地域住民や市町が直面する地域課題を取り上げ、住民や企業の思いを聞き取り、課題解決への取り組みを提案する「おうみ学生未来塾」を開講しています。これによって、学生のコミュニケーション能力や現実的な問題解決能力を向上させることが狙いです。

平成29年度に実施した長浜バイオ大学と滋賀県立大学での「おうみ学生未来塾」の内容と課題を報告します。



(2) 地域リーダーと大学生との交流

甲賀市では、「環びわ湖大学地域交流フェスタ」の開催にあわせて、地域の課題解決支援に取り組む学生達と市内の25の自治振興会（まちづくり協議会）のリーダーとが意見交換をする「まちづくり交流会」を開催しました。交流会の狙いと成果を報告します。

